

既存樹木の伐採及び文化財保護の条件



凡 例

樹木

・ 存置 2本

①アカマツ 存置

②タブノキ 存置

・ 移植 4本

③クロマツ 移植

④クロマツ 移植

⑤アカマツ 移植可

⑥アカマツ 移植可

文化財

・ 地上石垣

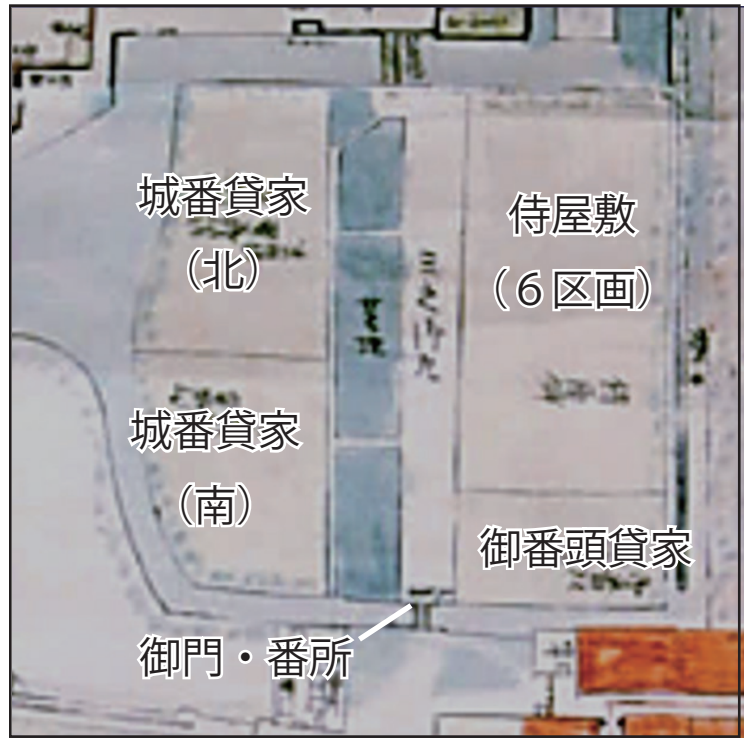
・ 三の丸大手橋の遺構

令和 6 年度	
工事名	
業務名	芦城公園用地測量業務
業務箇所	小松市丸の内公園町外地内
図 名	現況平面図
縮 尺	S=1/500
図面番号	
小松市	

令和 7年 3月 (株)有川測量設計事務所作成

小松城三の丸

城の大手（正面入口）で、南端中央に御門と番所があり、内部は小松城番の屋敷など、藩士の屋敷地であった。



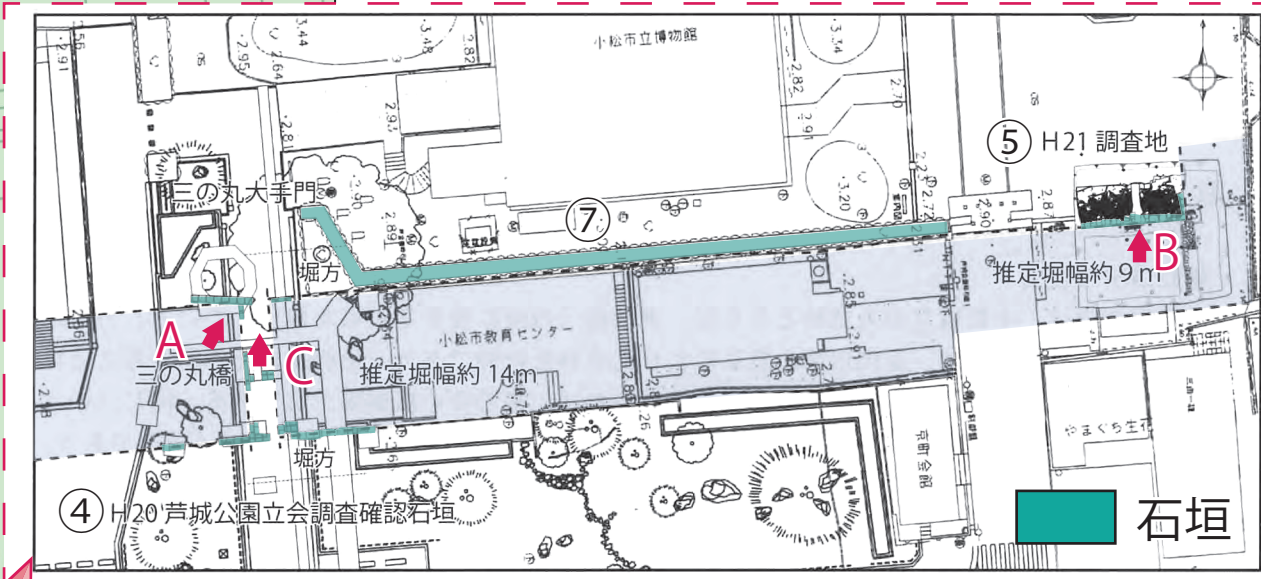
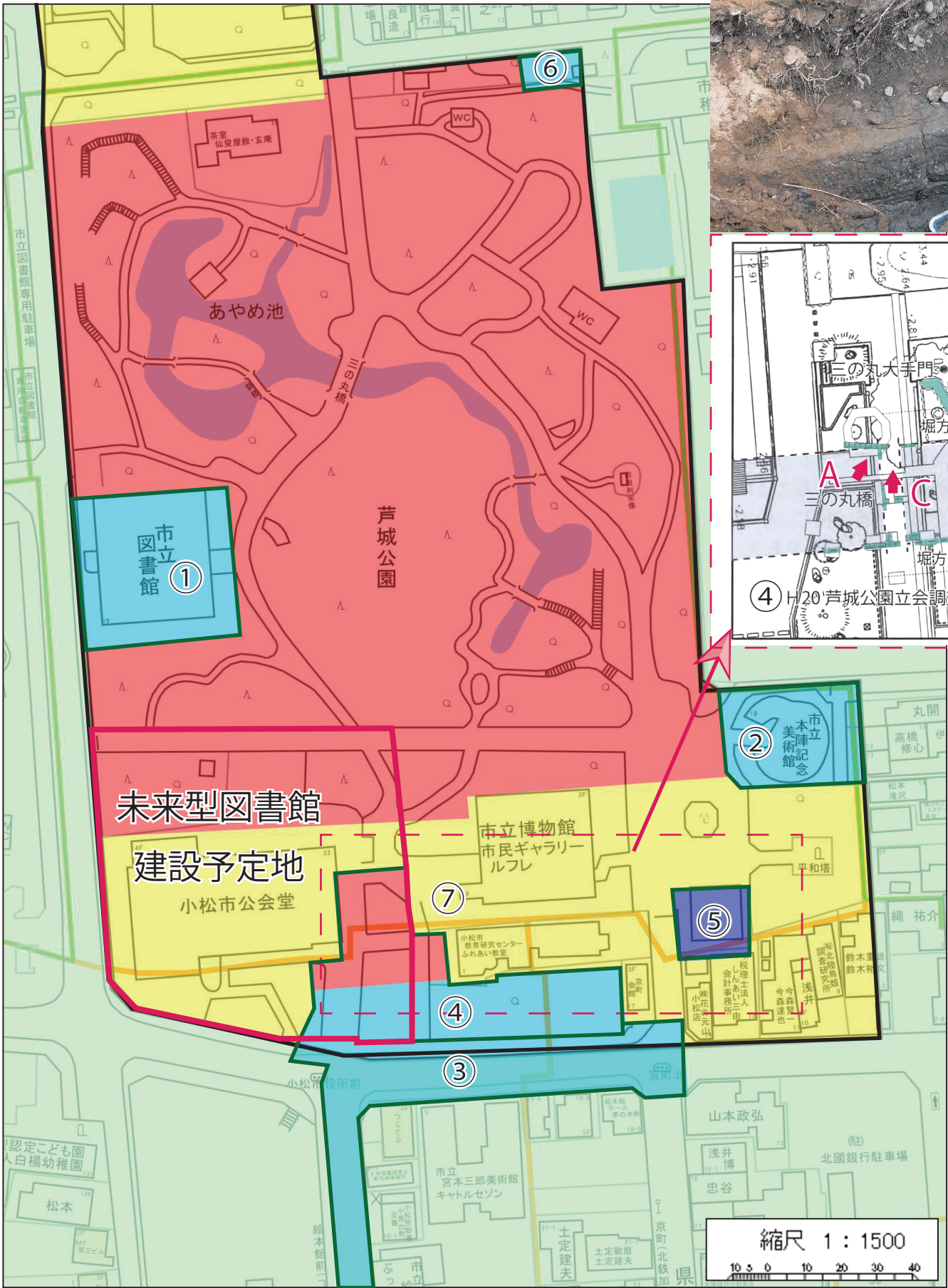
「小松御城中并小松町図」小松市立博物館蔵（部分）に加筆

調査履歴

- ①昭和 55 年 小松市立図書館建設→確認されず
- ②昭和 63 年 本陣記念美術館建設→確認されず
- ③平成 19・20 年 道路改良工事→確認されず
- ④平成 20 年 芦城公園整備→確認
- ⑤平成 20 年 市立美術館分館建設→確認、本調査
- ⑥平成 20 年 芦城公園管理事務所建設（中止）→確認されず
- ⑦令和 7 年 未来型図書館建設→協議中

埋蔵文化財包蔵地凡例

- 埋蔵文化財保存区域・調査未了区域
- 未調査の推定埋蔵文化財包蔵地範囲
- 発掘調査完了区域
- 埋蔵文化財が存在しない区域



「芦城公園入口」(明治 39 年) 小松市立博物館蔵

④・⑤・⑦地点について

- ④ 試掘調査で、三の丸大手周辺の石垣と橋（土橋）を確認し、一部配管が深く入る箇所のみ立会調査を実施。
- ⑤ 地表の石垣は既に撤去されていたが、地下に宝永～安永年間（1751 ～ 1781）以降の特徴を持つ石垣が確認された。
- ⑦ 一部に補修痕があるが、⑤と同様の特徴を持つ石垣。外側は 3 分勾配で積まれ、堀底から立ち上がる可能性が高い。天端面に残る 5 寸幅の平坦面は、かずら石を載せた痕跡と考えられる。